

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成17年8月(2005年)No.476

10月9日(日)13時より 中央会館にて 第45回OMC映像フェスティバル開催 幹事会でプログラム編成終わる

OMC最大のイベントである映像フェスティバルは、今年で45回目を迎えます。先人たちが築いてきた歴史が、45回という実績を積み上げてきたものと重く受けとめています。例年ハガキによるご案内でしたので、印刷レイアウトの関係で15~16作品しかプログラムにとり入れることが出来なかったため、今年からA4版プログラムにして封書によるご案内にすることにしました。そのため作品数枠は、全体の上映時間とのからみで、3本増やして19本としました。

上映作品は、昨年の8月例会分より今年7月例会まで及び撮影会作品を含めた全体で219本の中より19本がこのほど幹事会で最終的に選び出されました。全作品はDVD記録を会長が1週間かけて見直し、レポート講評を参考にしながら「撮影」「構成」「編集」「録音」の4評価項目を5点法で採点し、コンテスト入賞や努力の度合いで1~2点特別配点の上総合得点で評価し、その結果を参考にしながら幹事会で決定したものです。

OMCの伝統を傷つけないよう、今年も良い作品が選ばれたと思っております。この上は、フェスティバルが成功しますよう、会員諸氏のご協力をお願いいたします。

■へら竿撮影会作品コンテストの結果は、関作品と合原作品が最優秀賞に
 去る8月5日(金)夜行われた作品コンテストは出席者20名、出品者13名で行われ、全員1人3票で投票した結果は、当日は時間の都合で開票が8日の幹事会に持ち越されましたが、別項の通りでした。

8月例会のお知らせ

8月例会は27日(第4土曜日)午後6時より難波市民学習センターにて開催します。今月は偶数月で研究会の予定でしたが、別項の通り広島のアマチュア映像作家川本昭人氏等のドキュメンタリー映画祭を午後鑑賞することにして研究会は休会です。例会にはどうぞ。

第45回 OMC 映像フェスティバル プログラムが決まりました

■上映順

1. 奥 宏さん
飛騨古川祭 5分00秒
2. 増池 茂さん
西梅田寸描 7分00秒
3. 宮崎紀代子さん
近江八幡水郷めぐり 5分00秒
4. 西村光雄さん
ネパールの混迷・ゼネストの日 10分
5. 河合源七郎さん
北風の怒涛 (W) 5分00秒
6. 黒田敏彦さん
魅惑のタイ・アユタヤ編 12分
7. 森口吉正さん
姫川源流をゆく 7分30秒
8. 吉岡貞夫さん
村の伝統行事 9分25秒
9. 紙本 勝さん
京都歳時記・冬 10分00秒
10. 進藤信男さん (撮影会作品)
へらぶな釣りの想い (W) 10分
11. 安居利次さん
脱獄物語 9分20秒
12. 秦 峰一さん
花の詩 6分15秒
13. 上総修一郎さん
ペトラ遺跡 8分00秒
14. 江村一郎さん
YOSAKOI 2005 (W) 7分
15. 関 剛さん
北の汀 (W) 7分30秒
16. 山本正夢さん
トロッコが走る 5分20秒
17. 前田茂夫さん
高野山水行 (W) 9分36秒
18. 有村 博さん
淡路の瓦 10分00秒
19. 合原一夫さん
魅せられてマダガスカル 14分35秒

以上 19 本。出品者は作品テープを 8 月例会の時お持ち下さい。出品料 7 千円は 8 月か 9 月例会の際会計へ納めてください。

撮影会作品コンテストの結果報告

■最優秀賞 (同点 2 名)

- | | |
|----------|-----------|
| 関 剛さん | 20 票 |
| 匠 (W) | 8 分 35 秒 |
| 合原一夫さん | 20 票 |
| 紀州へら竿の世界 | 14 分 40 秒 |

■優秀賞

- | | |
|-------------|-----------|
| 前田茂夫さん | 15 票 |
| 紀州へら竿の里 (W) | 13 分 55 秒 |
| 宮崎紀代子さん | 12 票 |
| 紀州へら竿作り | 6 分 50 秒 |

■努力賞

- | | |
|---------------|-----------|
| 有村 博さん | |
| へら鮒竿師の里 | 11 分 41 秒 |
| 吉岡貞夫さん | |
| 紀州へら竿の名匠たち | 8 分 52 秒 |
| 岡本至弘さん | |
| 紀州へら竿の里 | 11 分 45 秒 |
| 河合源七郎さん | |
| 竿師と釣師たち | 10 分 22 秒 |
| 進藤信男さん | |
| へらぶな釣りの想い (W) | 10 分 10 秒 |
| 森 保信さん | |
| 和歌山橋本へら鮒竿作り | 10 分 37 秒 |
| 紙本 勝さん | |
| 紀州へら竿の里 | 13 分 35 秒 |
| 江村一郎さん | |
| 紀州へら竿 | 6 分 55 秒 |
| 鉄具嘉夫さん | |
| 匠と技へら竿名人 (W) | 11 分 22 秒 |
- 以上出品作品数 13 本

<コンテスト採点方法>

出席者が、それぞれ一番いいと思う作品を 1 位、次が 2 位、その次が 3 位として無記名で投票。1 位は 3 点 2 位 2 点 3 位 1 点として計算、総合得点にて順位をつけていきます。前回までは出品者は投票できませんでしたが、今回は例会日以外の日で出席者が少ないので出品者も投票しました。

撮影会作品 総評

合原一夫

今回の和歌山県橋本市における「へら竿」がテーマの一泊撮影会には、15 名の参加があり、作品が 13 本出たということは如何に皆さんが何とかしてまとめたいと思っ

て努力された結果ではないかと思えます。出品されなかった二人のうち森田さんは、作品テープを間違えて持ってきたという単純なミス。もう一人の石垣さんは、ハイビジョンカメラを買い求めて撮影会に参加したが、編集がうまく出来ず、ハイビジョン編集の課題の多さに頭を抱えておられました。

さて、13本の作品はそれぞれに努力されて立派にまとめ上げておられ、採点の結果も僅差で激戦でした。最優秀の作品の関さんの「匠」は、出来るまで映画の工程を無視した、完全な映像表現で人間国宝的な存在の「魚集」さんの仕事ぶりと釣を楽しむ情景を描いて迫力ある作品となっており他の作品と一線を引いた秀作でした。同じく最優秀作品となった私の「紀州へら竿の世界」は、親子、孫と三代に渡った人間関係を表現したところが他の作品に見られなかった点で評価されたものと思っております。たゞ、撮影会作品は、同じような画面が各人とも続きますので、長いと嫌がられるようで、12番目に上映された岡本作品は最も長かった(14分45秒)ので損をされましたが、内容はよく調べて作っておられ立派だったと思えます。一方、短い方は宮崎作品で、短編ながら要領よくまとめであり、好評でした。

よく調べてまとめられた、という点では進藤作品です。へら鮎の分類、由来などの解説があり、判りやすく構成されておりました。河合作品もこの点では同じくインターネットや図鑑などで調べておられたようです。また、紀ノ川の夕景を撮影するために、わざわざ追加撮影へ出かけられた由で、その熱心さに敬服いたします。

こういう現地の人のご協力で撮影ができたとき等は、先方の協力者の名前を作品のトップカラストに入れるのが礼儀だと思えますが、こういう字幕がない作品も見受けられましたので今後は注意しましょう。

へら竿づくりの工程は、細かく分類すれば300工程にもなると言われ、全工程を1人で3ヶ月から半年もかけて作り上げるそうです。とても全工程を撮影するのは無理で、最初から「出来るまで」の作品をねらうことは不可能で、それを少ないカットでいかに「へら竿づくり」の核心にふれるか

がポイントであり、また、人物を主にするか、趣味の分野を強調するか、まとめ方にはいろいろあって、みなさん大変勉強になったことと思えます。

東京アマチュア映像祭 全国ビデオ映像コンテストで 岡本会員が受賞

■入選：古道幻影 岡本至弘さん
おめでとうございます。

広島川本昭人さんが大阪で発表会 長編ドキュメンタリー「妻の貌」

阿倍野区民センター(あべのベルタのすぐ南側のビル、地下鉄谷町線阿倍野駅6番出口西へ1分)で8月25日(木)から28日(日)まで朝10時から夜まで通して阿倍野ヒューマンドキュメンタリー映画祭が行われます。この中で、例会日の27日(土)14時から、広島のアマチュア映像作家、川本昭人さんの長編ドキュメンタリー作品、「妻の貌」が上映されます。原爆症の奥さんを半世紀の間ずっと見つめてこられた作者の奥さんの記録です。見応えある作品として期待されます。(入場無料)

■大阪アマチュア映像祭は10月30日

恒例の大阪アマチュア映像祭は、大阪市立中央図書館にて、10月30日(日曜日)午後開催と決まりました。例年より早い開催で、準備期間が短く、これから11の加盟クラブと上映作品の選定、プログラムの印刷等、OMC映像フェスティバルの準備と共に、あわただしい残暑の季節を迎えます。

5分間の「世界遺産」

NHK テレビでは、5分間番組として世界遺産100選シリーズをとりあげて放送しています。5分間で内容の濃い番組にすることは、私たちアマチュアにとって大変勉強になります。1カット1カットを大事に、無駄のない編集は見習わなくてはなりません。私たちの例会でも内容の薄いだらだらした作品は嫌われます。時間を短くするには、必要性の少ないズームやパンニングはカットするべきです。NHKの5分間

の世界遺産シリーズはよき手本としてどうぞ見てみてください。平日は午前10時55分から11時まで、日曜日は午後7時55分から8時まで放送しています。

コンテスト情報

あなたも挑戦してみませんか

1. 第28回東京ビデオフェスティバル

20分以内、テーマ自由、締切9月30日
主催：ビクター、審査員：大林宣彦氏他

2. 第5回彩の国埼玉全国映像コンテスト

12分以内、テーマ自由、締切9月30日
主催：彩の国 埼玉映像連盟

審査員：半田 稔氏（元玄光社）他

3. ふくいショートムービーコンテスト

3分以内、テーマ自由、締切8月31日
主催：第20回国民文化祭・ふくい2005

審査員：大林宣彦氏他

4. 第4回全国こども科学映像祭

3分以上10分以内 締切10月31日
子供と協力し合って制作した作品に限る
小学生部門テーマ

みじかな生きもののふしぎ

中学生部門テーマ

科学の不思議を見つめると

主催：(財)日本科学映像協会他

以上、応募したい方は応募用紙等がありますので会長までご連絡ください。

■HDV出品者へお願い

SONYのHC1発売を契機にハイビジョン作品が増えてくるものと思われます。HDV出品者はDVにダウンコンバートしたテープを用意して書記担当者に渡して下さるようお願いいたします。

7月例会のレポート

7月の例会は23日の午後6時より何時もの例会場で開催しました。司会、吉岡さん、書記、有村さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼照明係を森口さん、宮崎さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、江村、岡本、奥、上総、河合、黒田、合原、関、鉄具、西井、西村、秦、華岡、前田、増池、宮崎、森、森口、森下、安居、山本、吉岡（敬称略）23名の皆さんと作品本数17本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村

博）

1) 天王寺公園 茶臼山

増池 茂さん

6分45秒

花壇のある公園から慶沢園、茶臼山、河底池と歩かれて、そこにあるがままの風景を撮影してられました。美しい映像ですが散文的なロングの絵が多くてアップのカットが少ないのでどう編集するか迷われたと思います。花でも噴水でももっとアップが撮ってあれば中に短く挟みますと映像全体に迫力とよい流れが出来て、より楽しい作品が出来上がるように思います。近場のことですから再度撮影を重ねられては如何でしょうか。

2) 初夏のころ

岡本至弘さん

12分00秒

今年の5月に周辺町村を合併して新しく和歌山県田辺市が出来た記念に作られたそうで、作者の故郷、中辺路町もその中にはいるそうです。最初に田圃で耕耘機を動かす夫婦は岡本さんの弟夫婦、お母さんが出てきて左右を介護されるのが姉妹、田辺市長に立候補して当選するのが従兄の息子、市議員に当選するのが地元ビデオクラブの会員さんと云う事で関係者にとっては全部が判った上でご覧になるので、素晴らしいホームビデオだったと思います。ですが初めてこの作品を見る私達にとってはお母さんの所に「母親」と出るだけで他の方々の人間関係が全く判りません。中には立候補者の母親と間違っていて見ている方も居られたようです。その辺を工夫されて再編集されたら立派な作品に仕上がるように思いました。地方での選挙風景など興味のある題材ですので是非頑張ってください。

3) 紅河の少数民族

山本正夢さん

10分00秒

中国雲南省の孟拉という町で日曜日に開かれるマーケットを取材されました。少数民族が沢山集まる所だそうです。ハニ族、タイ族、ヤオ族など珍しい服装の人たちを人口、住む場所など詳しくナレーションで紹介されます。そして紅頂ヤオ族の村に取材に。そこでは結婚式の披露宴が行なわれていました。親類縁者の他に近所の人達も入って、物凄い量の食料を食べるわ、食べるわ、まるで何日も食べてなかったみたい。同行されたお医者さんの急患で披露宴

の途中で帰途へ。骨折治療の現場も取材。毎度の事ながら山本さんにしか撮れない珍しい風景をたっぷり見せて頂きました。

4) ロボット

安居利次さん 7分00秒

大阪南港のインテックス大阪で行なわれたロボットの展示会で取材され、日本のロボットの進化の過程を事細かく説明しておられます。博物館とか展示場を撮影されて作品にされるのは安居さんの最もお得意とされる分野。見事な出来栄です。鉄腕アトムが誕生して50年になるそうです。人間そっくりな女性ロボットが会社の受付に座る時代もすぐそこまで来ているのでしょう。

5) 村の伝統行事

岡貞夫さん 9分25秒

金剛山の麓、奈良県御所市東名柄という40戸位の村は吉岡さんが以前、住んで居られた所とか。村の青年団の若者が祭に行なわれる伝統行事で苦労される様子を取材しておられます。鄙びた天神様のお祭で3箇所で作られた飾り人形も今風の漫画のキャラクターが多くなりました。世代交替があってもこの伝統は末長く伝えられてゆくのでしょうか。適当なインタビューも交えて立派な作品に仕上げられています。

6) ヒマラヤの麓の一日

西村光雄さん 9分10秒

別の題名で発表された作品を皆さんの意見を取り入れられて題名も編集もやり直されて再上映されました。ネパール第2の町ポカラから友人の自動車で出発し、トレッキングの出発基地ノーダラまで行った時に撮影されたものです。最後に運良く結婚式に出掛ける新郎の激励会に出会われて珍しいあちらの行事を取材され作品が盛り上がります。再々ネパールを殆ど一人で訪問される西村さんならではの作品でした。

7) 竿灯の技

西村光雄さん 4分59秒

世界で初めてのインターネットで動画を送信応募するビデオコンテスト「フレツデビデオメール大賞」がこの程行なわれ、その第1回目の6月20日締切分で佳作賞を受賞された作品です。講評は玄光社の「ビデオサロン」8月号に掲載されていますので省略します。秋田県秋田市の竿灯祭での

妙技を紹介された作品です。

8) 笑い合う

有村 博さん 4分10秒

西村さんの作品と同じく入選した作品を上映しました。講評は省略します。数年前、西村さんに連れて行って頂いた時にネパールで撮影したもので、ナレも音楽もない、カメラマンと被写体が、ただ笑い合うだけの作品です。

9) 炎と水の祈り

河合源七郎さん 8分40秒

奈良東大寺の二月堂で毎年3月始めに行なわれる通称「お水とり」、修二会で汲み上げられるお香水は若狭の国から送られてくるといふ伝説があります。そこで修二会のクライマックスの10日前の3月2日には福井県小浜の神宮寺では「お水送り」といふ神事が行なわれているようで、これを精力的に取材されています。殆どが夜の行事でビデオにとっては条件の悪い被写体ですが、的確な画角で行事の進行を好位置で撮っておられます。最後に大勢の人々が松明を持って行進する様はまさに圧巻でした。よくお撮りになったものと感服致しました。河合さんの代表作の一つとも云える見事な作品でした。

10) 混在編集 (ハイビジョン)

前田茂夫さん 7分13秒

最初はハイビジョンカメラ、ビクターのJY-HD10とソニーのHDR-FX1の美しい画面が出てきます。次にソニーのDVカメラVX1000で撮影したDVの映像が両側に黒幕が入って表現され、続いて4対3の上下カットした映像、終わりにパナソニックDVカメラGS-100Kのワイド映像が出ます。何れもハイビジョン信号のMPEG2での貴重な混在記録です。これで将来、ハイビジョンだけの時代がきても私達の今までに撮った貴重な記録である8ミリフィルム映像もVHS、Hi-8、DV映像も、はたまた720pも1080iも全て一つのハイビジョン信号で編集出来る事が判明しました。貴重な実験記録を見せて頂き有難うございました。

11) 桜散り初めぬ (ハイビジョン)

上総修一郎さん 8分13秒

この作品はソニーのハイビジョンカメラFX1で撮影され、カノーブスのソフトで

編集されたそうです。夜桜から始まって山々の遠望、湖、富士山、雨の桜、散りゆく桜等々、そして再び夜桜で終わる作品でした。間にはそれぞれに当てはまる句がテロップされて作品らしく仕上げられた上総さんらしい作品でした。

12) 夏点描 (ハイビジョン)

奥 宏さん 3分46秒

7月7日発売のソニーのハイビジョンカメラHC1を購入された奥さん、編集は？と、お聞きしました所、ソニーのパソコンVAIOを新調されたようで、プレミアプロでの編集だそうです。早速近場の長居公園の中にある植物園に行かれて夏の花々とそれを愛でる人たちを撮影されて披露されました。音楽も確かパソコンで自作されたもののように思われますが、研究ご熱心な作者の次回作が楽しみです。

13) 森に遊ぶ (ワイド)

鉄具嘉夫さん 10分00秒

作者がお住まいの大阪府交野市に平成13年に誕生した「交野里山ゆうゆう会」というボランティア団体の1年間にわたる活動記録を作られました。草刈り、田植え、竹、樹木の間伐、森林体験学習など多彩にわたって活動しておられる様が細やかに描写されています。関係者にとっては貴重な記録で大いに喜ばれたと思います。初めて拝見する私達にとっては最初の説明のテロップが少々早すぎて全部読み切れない間に消えるのでその後は、ただ漠然と拝見して終わった感があり、それが残念でした。何も予備知識のない人達に見せるにはナレーションで説明して頂けたらなお良かったのではないのでしょうか。

14) あじさい (ワイド)

江村一郎さん 5分50秒

奈良県大和郡山市にある金剛山寺、矢田寺はあじさいの寺として有名です。江村さんの迫力のある花のアップが随所に出てきます。花と石仏だけが殆どの作品で、どのように見せるか、編集が難しいと思います。何とか無難にこなされているようです。最後に雨になり梅雨の最中のあじさい見物は独特の風情がありました。

15) 魅せられてマダガスカル

合原一夫さん 14分30秒

アフリカの東部、インド洋に浮ぶ日本の

1. 6倍の大きさの島国マダガスカル共和国に行ってこられました。そこへ行くには飛行機でヨーロッパの都市を経由して2日がかりの日程だそうです。珍しい動植物が沢山出てきます。初めて見るのが殆どで興味が尽きません。中でも「横っ飛び猿」の動作には笑いました。絶妙の編集で上映時間があったという間に過ぎました。お見事な作品でした。

16) 花の詩

秦 峰一さん 6分15秒

冬から始まる四季の花々に奈良の数々のお寺が出てきます。猿沢池から興福寺の五重塔に金堂、当尾の笑い仏、長谷寺、室生寺、矢田寺、京都府の岩船寺、浄瑠璃寺、そして最後は斑鳩の法輪寺に法起寺でしょうか。それにお琴を弾く女性の姿がダブります。何とも情感豊かな作品です。パソコンの技法をうまく取り入れられて見事な作品をお作りになりました。

17) 近江八幡水郷めぐり

宮崎喜代子さん 5分00秒

滋賀県近江八幡市に行かれた宮崎さん、近江商人発祥の町並みの紹介から八幡堀へ、そして水郷めぐりの船に乗ります。青々とした成長期のよしの間を行き交う手漕ぎの船、のどかな近江八景の一つが描かれています。ナレーションでの解説も親切で、爽やかな感じの作品に仕上がっていました。

以上で会員さんの作品上映を終り、何時ものように喫茶組と居酒屋組に別れて2次会を楽しみました。

HC1が売れているようです

祇園祭の山鉾巡行を河原町交差点で撮影してきました。大勢の人出ですが、殆どが観光客でアマチュアカメラマンは数えるほどしか見当たりませんでした。ビデオカメラを持っている観光客でHC1を持っている人が非常に多く目につきました。10人中4~5人がHC1、残りがハンディDVでした。この状況には驚きました。安い価格でハイビジョンが撮れるカメラということで、売るほうも宣伝し、買うほうも納得して買われたものと思います。多くの方は面倒な編集などしないので、HDVで撮れたら大満足なのでしょう。ビデオカメラの世界は変わりつつあります。(前田記)